

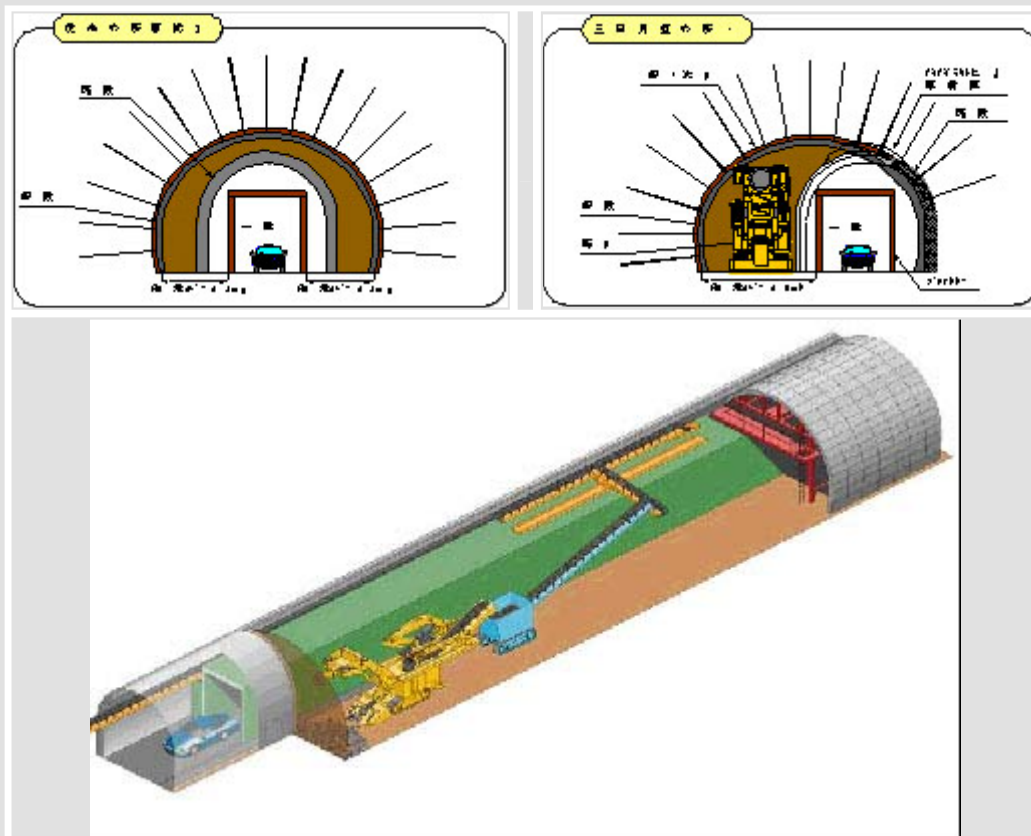
交通量の増加や通行車両の大型化に対応するため、活線下において既設トンネルの断面を拡大したいという要求が増加しています。

既設トンネルの片側だけを拡大する、三日月型の断面拡大工法とマルチタイプ掘削機の採用により、コストの縮減・工期の短縮を実現しています。

概要

OUTLINE

- 掘削部分を片側に集約することで広い作業スペースが確保でき、大型重機による施工が可能になり、掘削効率が向上します。
- 既設覆工コンクリートの一部を新設の一次支保として利用するので、新設の一次支保の数量と、覆工撤去数量が低減でき、コスト縮減がはかれます。
- 掘削、既設覆工撤去、コンクリート吹付け、ロックボルト打設等の作業が1台のマルチタイプ掘削機で可能で、効率的な作業が行えます。



実績・実例

RECORD OF WORKS

白石トンネル
銀河トンネル

